

地域みんなで守る わが家の 防犯

東京海上日動火災保険による、住まいの盗難防止と被害軽減のための注意喚起資料を基に作成しました。

一般家庭向けに、防犯対策の重要性と具体的な方法を分かり易くお伝えします。



なぜ"いま"盗難対策が必要なのか

侵入盗は昼夜を問わず発生しており、一軒家・マンション問わず狙われています。外出中に侵入され、現金や貴金属を盗まれる被害が後を絶ちません。短時間の外出でも被害に遭うケースが増えています。

「うちは大丈夫」と油断しないことが大切です。防犯対策は、すべての家庭にとって必要不可欠な取り組みとなっています。

24時間

いつでも発生

昼夜問わず侵入盗が発生

全住宅

どこでも狙われる

一軒家もマンシ

ョンも対象





泥棒が狙う家の特徴

泥棒は「侵入しやすく、見つかりにくい家」を選びます。以下のような特徴がある家は特に注意が必要です。



留守が分かる

新聞や郵便受けに溜まるチラシで、長期不在が一目瞭然になっています。



古い錠前

鍵が簡単に開けられる古い錠前は、侵入者にとって格好の標的です。



防犯設備なし

防犯ライトや防犯カメラがないと、侵入のリスクが高まります。



死角が多い

周囲から見えにくい死角が多い家は、泥棒に狙われやすくなります。

防犯の3原則

入らせない・見せない・あきらめさせる

入らせない

玄関・窓に補助錠や防犯ガラス設置し、物理的に侵入を防ぎます。二重ロックは特に効果的です。



見せない

外から家の中を見せない工夫が重要です。カーテンやすりガラスで、貴重品の存在を隠しましょう。

あきらめさせる

防犯ライト・センサー・警備会社のステッカーで、侵入を断念させる環境を作ります。

玄関の防犯対策

玄関は侵入者の主要な入口

玄関ドアの防犯対策は最も重要です。補助錠の設置、ピッキングに強い鍵への交換、ドアスコープやインターホンの活用が効果的です。

- 補助錠で二重ロック
- ピッキング対策済みの鍵
- 防犯性の高いドアスコープ
- 録画機能付きインターホン



窓の防犯対策

補助錠の設置

窓に補助錠を取り付けることで、侵入を大幅に防げます。

防犯ガラス

割れにくい防犯ガラスは、侵入に時間をかけさせます。

センサー設置

窓の開閉を感知するセンサーで、異常を即座に検知します。

窓は侵入経路として最も多く利用されます。特に1階と2階のベランダ側の窓には、重点的な対策が必要です。

照明と監視カメラの活用



明るさが防犯の鍵

人感センサー付きライトは、侵入者を威嚇する効果があります。玄関周り、庭、駐車場など、死角になりやすい場所に設置しましょう。

防犯カメラは、録画機能だけでなく、その存在自体が抑止力になります。ダミーカメラでも一定の効果があります。

人感センサーライト

動きを感知して自動点灯

防犯カメラ

録画と抑止の二重効果

窓の重点対策

1・2階のベランダ
側窓を強化します

監視カメラ

可視化で監視と証
拠を確保します



照明設置

夜間は明るく保ち
侵入を抑止します



日常の防犯習慣

01

外出時の施錠確認

短時間の外出でも、すべての窓とドアを必ず施錠しましょう。

03

SNSの投稿注意

旅行や外出の情報をリアルタイムで投稿しないようにしましょう。

02

郵便物の管理

郵便受けに溜まったチラシや新聞は、留守を知らせるサインです。

04

ご近所との連携

地域のコミュニティで情報を共有し、互いに見守りましょう。

もし被害に遭ってしまったら



すぐに警察へ通報

110番に連絡し、被害状況を報告します。慌てず、落ち着いて対応しましょう。



被害箇所を触らない

指紋などの証拠が残っている可能性があります。警察が到着するまで現場を保存してください。



保険会社に連絡

火災保険の盗難補償を確認し、必要な手続きを進めます。



ご近所に注意喚起

同じ地域で連続して被害が発生する可能性があります。情報を共有しましょう。

地域みんなで守る安全な暮らし

防犯対策は、個々の家庭だけでなく、地域全体で取り組むことが最も効果的です。ご近所同士で声をかけ合い、不審者情報を共有することで、犯罪を未然に防ぐことができます。

今日からできる防犯対策を始めましょう。小さな心がけの積み重ねが、あなたの大切な家族と財産を守ります。

□ 出典：東京海上日動火災保険

事故防止・被害軽減のための注意喚起資料より

